

おおむた 市議会だより

第195号

平成27年度
第4回定例会

平成28年(2016年) 2月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成22年度以降



成人式(1月10日)

【主な記事】

- 議会報告会 寄せられた意見を今後に活かします／ぎかいの話題(2ページ)
- まちづくり総合プラン案について市長へ要望～まちづくり・活性化特別委員会～／ぎかいの話題(3ページ)
- 市議会に関するアンケート結果の速報がまとまりました／トピックス(12, 13ページ)

ぎかいの話題

議会報告会 寄せられた意見を今後に活かします



「手鎌地区公民館（8月20日）」



「吉野地区公民館（8月26日）」

平成27年度の議会報告会は、9会場で実施し延べ250名の参加がありました。

そこでは議会や市行政に対して様々な意見・要望をいただき、議会改革特別委員会において下記のとおり分類・集約しました。

これらをさらに分析・精査を行い、今後の議会活動に活かしていきます。

行政に関する発言

空き地・空き家に関することについては、空き地の樹木や雑草の管理及び老朽化した危険な空き家などの対策を求める声が寄せられました。

この問題については、議会の総意として市長に対して取り組むよう要請し、市長からは条例の見直しを検討したいなどの回答がありました。

また、「三川坑跡の保存活用については、市の厳しい財政を勘案しながら公園化など市民が憩える場としてほしい」、「世界遺産登録後の公共施設整備にあたり、本市財政が再度逼迫するような事態に陥らないことを要望します」など炭鉱に関する意見・要望が数多く寄せられました。

分類の区分

分類①

市行政に関する発言で、市長等へ要望及び提案を行うもの。

分類②

市行政に関する発言で、議員で供覧を行い、市当局につながるもの。

分類③

議会に関する発言で、委員会で継続的に検討し、議会としての考えをまとめるもの。

分類④

議会に関する発言で、議員で供覧を行うもの。

議員のよう顔(その3)



橋積 和雄
議員

①62歳 ②今山 ③ウォーキング、読書、映画鑑賞、温泉めぐり ④「明けない夜はない」苦しいとき、この言葉に勇気をもらいました。 ⑤有明海や三池山など恵まれた自然と環境。立派な図書館、動物園がある。優しく人情味がある人が多い。 ⑥長所は粘り強い。短所は心配性なところ。



平嶋 慶二
議員

①61歳 ②歴木 ③家庭菜園、花壇づくりと愛犬との早朝の散歩 ④汝その道を行け、そして人の語るに任せよ（フランス哲学者の言葉） ⑤甘木山から見る大牟田市の夜景は、市内が一望できて最高だと思います。 ⑥長所は怒らない、ゆっくり。短所は片づけ下手、無駄が多いところかな。

まちづくり総合プラン案について市長へ要望～まちづくり・活性化特別委員会～

平成27年9月に「まちづくり・活性化特別委員会」を設置し、平成28年2月定例会に提案予定の「大牟田市まちづくり総合プラン案」等に議会意見を反映するため、10回にわたり委員会を開催し、鋭意、論議を進めてまいりました。

全委員の合意形成を図り、本特別委員会の総意として意見・要望をまとめ、昨年12月定例会で中間報告を行いました。

17項目の意見・要望については、全議員の一致した総意として、議会から市長に、「大牟田市まちづくり総合プラン案」、「アクションプログラム案」または「平成28年度予算案」等に反映するよう要望し、何らかの形で回答するように求めています。



委員会の様子

意見・要望

意見・要望のうち平成28年度予算案に反映する必要があると考えるもの

●次世代に選ばれる子育て支援の一つとして、現在行っている本市独自の保育料の軽減措置や幼稚園就園奨励費補助については、保護者の負担軽減の観点から今後も継続されたい。

また、子どもの医療費助成制度の拡充に努められたい。

●学校教育環境の充実として、小中学校普通教室への空調設備設置計画に取り組まれているが、遅くとも28年度に小学校、29年度に中学校の2カ年計画とされたい。

その際、設置工事について小学校は28年度の夏休み期間中でもやむを得ないが、中学校は29年度の春休みやゴールデンウィーク期間中などを利用して工事を行い、29年度から小中一斉に使用可能となるよう努められたい。



平山 光子
議員

①68歳 ②倉永 ③フラダンス ④微力だけど無力じゃない(めげそうな気持ちになるとき、高校生平和大使の言葉で自分を励ましています) ⑤暖かい、物価が安い、災害が少ない、大切な人々が住む故郷 ⑥単純ですぐ感動する、すぐ忘れる、家族からは声が大きすぎると・短所は長所、個性ですよね。



松尾 哲也
議員

①55歳 ②田隈 ③ソフトテニス、ゴルフ ④命に過ぎたる宝なし(生命ほど大切な宝はこの世にない。健康第一) ⑤温暖な気候、自然災害が少なく、物価が安いところ。 ⑥短気だと思う(年と共に長くなったかな?)。整理整頓ができない。自分の意見を言う前に、相手の言うことを聴けることを長所にしたいと日々思う。



古庄 和秀
議員

①43歳 ②柿園町 ③温泉 ④一球入魂 ⑤温暖な気候で、市民の皆様も人情味にあふれ、災害も少なく、公共交通も充実し、物価も安く、海の幸、山の幸にも恵まれ暮らしやすいところ。 ⑥長所は何事にもあきらめずに、取り組むところ。短所は短気なところ。



光田 茂
議員

①66歳 ②諏訪町 ③スポーツ(バレーボールの指導) ④成せばなる、成さねばならぬ何事も(何事も最後まで諦めず、成就するまで努力すること) ⑤自然災害が少なく、四季もあり生活しやすい。特に延命公園(周辺体育施設や動物園など) ⑥一見厳しいが、本質は優しい(何事にも厳しく一生懸命だから、誤解を受けやすい)

本会議運営のあらまし

本会議運営のあらまし

■ まちづくり・活性化特別委員会での意見・要望を報告

第4回定例会

平成27年度第4回定例会は、12月11日に招集され、12月24日までの14日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、4億1,581万円を追加する一般会計補正予算などの議案18件、意見書案などの発議11件、TPP（環太平洋連携協定）に関する請願1件の計30件でした。

本会議では、市長の政治姿

勢、マイナンバー制度、快適住マイル改修事業、地域包括ケアシステムなどの諸課題について、11人の議員が登壇し、市長及び当局に質問しました。

また、まちづくり・活性化特別委員会で議論された18件の意見・要望を取りまとめ、中間報告を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議5件を除いた議案、発議、請願をそれぞれ可決、同意、採択して本会議を閉会しました。

議会日誌（10月～12月）

【10月】 6日 まちづくり・活性化特別委員会
16日 議会報編集委員会
19日 まちづくり・活性化特別委員会
26日 総務委員会
27日 まちづくり・活性化特別委員会

【11月】 2日 まちづくり・活性化特別委員会、議会改革特別委員会
10日 市民教育厚生委員会
12日 各派代表者会、議会運営委員会
13日 まちづくり・活性化特別委員会
26日 まちづくり・活性化特別委員会
30日 まちづくり・活性化特別委員会

【12月】 3日 まちづくり・活性化特別委員会
4日 各派代表者会、議会運営委員会
8日 総務委員会、都市環境経済委員会
9日 議会改革特別委員会、まちづくり・活性化特別委員会
10日 市民教育厚生委員会
11日 各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会
16日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
17日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
18日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
21日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
24日 各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔採決、閉会〕、議会報編集委員会

行政視察受入（10月～12月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
10	7	愛知県	春日井市議会	議会運営及び議会基本条例
	8	愛知県	豊明市議会	高齢者保健福祉計画、第6期介護保険事業計画
	14	東京都	武蔵村山市議会	空き家対策事業（居住支援協議会と老朽危険家屋等除却促進事業）
	19	東京都	目黒区議会	大牟田エコタウン事業の概要、レアメタル・レアアースリサイクルの取り組み
	21	東京都	練馬区議会	業務最適化計画
	21	神奈川県	茅ヶ崎市議会	居住支援協議会における空き家の有効活用の推進
	28	静岡県	焼津市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興
	29	広島県	福山市議会	議会報告会
	4	東京都	立川市議会	中学校給食
	5	北海道	名寄市議会	大牟田市立病院地方独立法人化
11	6	神奈川県	小田原市議会	重要港湾三池港を活用した地域振興
	10	埼玉県	久喜市議会	認知症徘徊対策、地域密着型介護施設
	12	兵庫県	たつの市議会	議会改革
	18	鳥取県	米子市議会	大牟田市食育推進計画
	24	愛媛県	今治市議会	ユネスコスクール推進事業
12				なし



委員会メモ



筑後地域消防指令センター始動

【総務委員会】

10月26日の委員会で、大牟田市消防本部で受け付けている119番通報は、27年11月12日から筑後地域消防指令センター（久留米市）で受け付ける旨の説明を受けました。同センターでは、10市4町1村の119番通報を受信することになりますが、通報の方法や出動体制に変更はありません。

児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針を策定

【市民教育厚生委員会】

児童生徒のスマートフォン等の所持率が年々増加し、全国的にインターネット等によるトラブル等が多発しているため、大牟田地域教育力向上推進協議会が、児童生徒のネットトラブル等の未然防止を目的に指針を策定しました。リーフレット等により、児童生徒や保護者への啓発が行われています。

三池港の港湾施設を公共化

【都市環境経済委員会】

12月8日の委員会で、三池港が世界文化遺産として登録されたことに伴い、稼働中の資産である三池港の港湾施設を維持管理し、保全するため、開門や護岸等の港湾施設について、施設所有者から港湾管理者である福岡県に無償譲渡された旨の説明がありました。

市議会に関するアンケート

【議会改革特別委員会】

昨年11月に実施した「市議会に関するアンケート調査」の速報及びその速報値のデータに基づき、作業部会で協議した結果を報告しました。

今後は、委員会等で詳細な分析結果を基に検証等を行い、その後にホームページ等で結果の公表を行う予定です。

議案等名	会派等名	自民	公明	護憲	共産	無所属					賛成数	審議結果
		6人	5人	5人	3人	島野知洋議員	城後徳太郎議員	塚本三作議員	中原誠信議員	森遵議員		
発議第22号	玄海原発の再稼働を認めないことを求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第23号	佐賀空港へのオスプレイ配備に反対する意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第24号	法人税の引き下げの中止と国民生活支援策の充実を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第25号	戦争法の採決強行に抗議し法の廃止を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
発議第26号	労働基準法改正案の撤回を求める意見書案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決
議案第54号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第55号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第58号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
発議第27号	夜間中学の整備と拡充を求める意見書案	×	○	○	○	×	×	×	×	○	14	多数可決
発議第28号	マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書案	○	○	×	×	○	○	○	○	○	16	多数可決

下記については全員賛成で可決、同意、採択されました

議案第52号 平成27年度大牟田市一般会計補正予算

議案第53号 平成27年度大牟田市水道事業会計補正予算

議案第56号 大牟田市市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第57号 大牟田市学童保育所条例の一部を改正する条例の制定について

議案第59号 大牟田市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について

議案第60号 大牟田市立小学校、中学校及び特別支援学校の体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第61号 指定管理者の指定について（羽山台学童保育所）

議案第62号 指定管理者の指定について（大牟田駅東口駐車場及び新大牟田駅駐車場並びに大牟田駅西口自転車等駐車場、大牟田駅東口自転車等駐車場及び新大牟田駅自転車等駐車場）

議案第63号 指定管理者の指定について（大牟田市動物園）

議案第64号 市道路線の認定について

議案第65号 請負契約の締結について（大牟田市高泉市営住宅（1期）新築工事）

議案第66号 請負契約の締結について（大牟田市高泉市営住宅（1期）新築工事に伴う管設備工事）

議案第67号 請負契約の一部変更について（大牟田市宅峰中学校校舎増改築及び大規模改造工事）

議案第68号 請負契約の一部変更について（大牟田市宅峰中学校屋内運動場改築工事）

議案第69号 大牟田市公平委員会委員の選任について（中尾哲郎氏）

発議第29号 ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書案

発議第30号 TPP（環太平洋経済連携協定）に関する意見書案

発議第31号 子ども・子育て支援新制度に対する意見書案

発議第32号 TPP参加に関する情報公開と国会審議の徹底を求める意見書案

請願第1号 TPP（環太平洋経済連携協定）に関する請願

会派名称	所属議員（★は会派代表）
自由民主党議員団（自民）	徳永春男★、今泉裕人、境公司（議長）、田中正繁、光田茂、森竜子、山口雅夫
公明党議員団（公明）	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
社民・民主・護憲クラブ（護憲）	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団（共産）	橋積和雄★、北岡あや、高口講治

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した会派（または議員）を○と表記し、それ以外の会派（または議員）を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わるできません。

代表質問

中尾新市長の政治姿勢を確認し、100年先の明るい大牟田をめざし、まちづくりを開始



公明党議員団
大野 哲也 議員

中尾新市長の政治姿勢を確認

問 市長に就任された抱負と決意を聞きたい。

答 まず、本市の人口減少に歯どめをかける取り組みを進めたい。

そのために、子どもを産み育てたいと思ってもらえるような環境づくりと教育の充実、産業の多様化と雇用の場の確保に取り組みたい。

これらの取り組みを進めることで、地域の総合力を高め、定住促進や人口減少の抑止を図りたいと考えている。

未来の発展に欠かせない教育の充実を

問 教育についての市長の基本的な考えを聞きたい。

答 人口減少に歯どめをかけるために、教育が果たすべき役割は大変大きく、教育の充実は特に重点的に取り組むべき課題と認識している。

また、教育にかかる保護者の経済的負担も軽くしていく必要があり、今後、教育委員会と十分に連携を図りながら、教育の充実に努め、我が国の

将来を担う児童生徒に、知育、徳育、体育のバランスのとれた、社会を生き抜く力、持続可能な社会をつくる力を育成していきたい。

子ども医療費や幼児教育費の軽減等の支援策を拡充し、子育てしやすいまちへ

問 子ども医療費の公費負担拡大や、保育園の保育料、幼稚園の授業料の軽減などについて考えを聞きたい。

答 保護者の経済的負担を軽くする総合的な子育て支援施策の推進というのが大変重要だと考える。

具体的には来年度の予算編成や（仮称）第5次総合計画の中で、保護者負担の軽減も含め、実施に向けての検討を進めていきたい。

健康づくりへポイント制度等の導入推進を

問 公約に、健康づくりマイレージ制度の充実を掲げているが、具体的にはどのように進めるのか聞きたい。

答 誰もが住みやすく、あらゆる世代が成長できるまちを実現するために、健康で生きがいを感じられる社会を目指すための取り組みを進めることを公約として掲げており、市民、地域、関係機関、関係団体が主体となり、健康づくりマイレージと介護予防ボラ

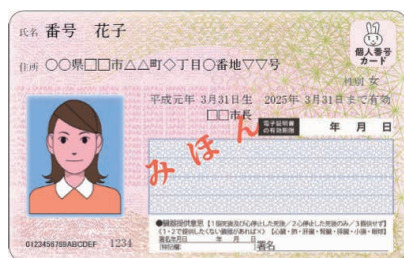
ンティアポイント制度等をあわせ持ったポイント制度を創設したいと考えている。

マイナンバー制度の正しい意義・目的の周知と広報啓発の徹底を

問 個人番号カード作成の意義について聞きたい。

答 マイナンバーの利用について、厳格な本人確認が義務付けられるが、カードがあれば1枚で本人確認が完了し、公的な身分証明書として活用することが可能となる。

また、将来的にITを活用したさまざまな手続きで利便性の向上も想定される。



個人番号カード

時代の流れを見据えた新たな企業誘致の推進を

問 幅広い分野の企業誘致を推進していくとは、具体的にはどのような分野になるのか聞きたい。

答 これまで取り組んできた製造業や環境リサイクル産業に加え、社会ニーズが高まっており、今後成長が期待できるエネルギー、ヘルスケア、IT関連産業や、本社機能の地方移転、オフィス誘致など、本市産業の裾野の拡大に向けた取り組みを進めていきたい。

2年間のエアコン整備や奨学金制度の創設を



社民・民主・護憲クラブ
松尾 哲也 議員

市長の政治姿勢 (市長の決意と抱負)

問 市長の政治スタンスは。

答 市民の思いを受けとめ、一緒に前に進んでいくような市政を目指していく。

問 本市の将来像やまちづくり、行政運営に対する決意と抱負を聞きたい。

答 子どもを産み育てたいと思えるような環境づくりと教育の充実、産業の多様化と雇用の場の確保により、地域の総合力を高め、定住促進や人口減少の抑止を図りたい。

問 保育所や幼稚園の保護者負担軽減の考えを聞きたい。

答 28年度予算編成や(仮称)第5次総合計画の中で保護者の負担軽減を含め、実施に向けての検討をしたい。

小中学校の普通教室への エアコン設置を

問 28年度から2年間で設置したいとの市長の発言について考えを聞きたい。

答 私としては2年間の整備とし、小中学校ごとの一斉整備が必要と考える。

問 工事を始めるなら、期間

はどれくらいかかるか。

答 工事は、約5カ月かかると思われる。

問 業者は1カ月で工事は完了できると話しているが、短縮できるか。

また、広く地元業者が入札に参加できるような配慮が必要であると思うがどうか。

答 短期間での設置及び市内業者の受注機会の確保を図れるよう検討したい。

公契約条例の制定を

問 労働者の生活の安定と地域経済の活性化のために、公契約条例制定の考えは。

答 制定済み自治体の条例の調査・分析、直方市の施行後の検証結果の研究を進めていきたい。

快適住マイル改修事業の 今後の取り組み

問 快適住マイル改修事業は、24年から3カ年事業展開され、27年はスーパープレミアム商品券の発行で見送ったが、4年間の総括は。

答 住宅リフォーム関係の利用実績として、額的には昨年以上の消費があり、地域経済の活性化に一定の効果があったと考える。

問 28年度の取り組み方針は。

答 アンケート等を踏まえ、事業効果等から、次年度の事

業の可否を判断したい。

本市の奨学金制度の 創設を

問 生活保護世帯の高校生の5人に一人が奨学金を受給し、親や卒業後の子どもの生活に多大な影響を与えている。未来を担う若者を社会全体で支える必要があると思うが。

答 何らかの支援は必要と認識しており、目的やニーズなどを検証し、財源と運用、運営主体などを含め検討したい。

問 国に制度改正も含め、市長から要望してはどうか。

答 教育費は、全て国が持つべきとの基本的な考えを持っており、国に対して見直ししていただくよう働きかけたい。

メンタルヘルス対策と ストレスチェックは

問 法の改正により、12月1日からストレスチェック制度が施行された。市職員や教職員に対する取り組みは。

答 市職員は、定期健診時に17年度から実施している。教職員は自己チェック表を配布し、希望者には、学校保健管理医の面接指導を実施している。引き続き教職員が教育活動に専念できるよう職場環境の充実に向け取り組んでいく。



代表質問

大牟田の未来を担う人材を



子ども・子育て支援

問 母子手帳の交付から、小学校か中学校ぐらいまでに対応する子育て関係のワンストップ窓口の設置の考えは。

答 子ども・子育て支援についての市民ニーズに対応して、子ども・子育て支援を推進していると市民が実感できる組織機構の整備が必要になると考える。

学力向上と教育環境の整備

問 教育の充実と向上、学力レベルの高い地域になるための方策は。

答 少人数学級編制や本市独自の教材集を作成して活用するなど、学力向上のための様々な事業や取り組みが進められている。

総合教育会議等を通して教育委員会と十分に協議を行い、児童生徒の確かな学力の育成に努めていく。

問 教育予算の考え方は。

答 教育内容を充実させるには、副教材や消耗品等も十分な手当てをしていく考えを持

っており、今後の具体的な予算編成に取り組みたい。

問 小中一貫教育の考えは。

答 教育委員会では小中学校が連携を図りながら、小

中の9年間を見通したカリキュラム編成の工夫に取り組んでいる。今後の小中一貫教育の推進に期待をしている。

問 地域とともにある学校づくりという意味での学校運営協議会等をつくる考えは。

答 各地域の実態に応じて、子供たちをみんなで見守りながら育てていく、大牟田版のスクール・コミュニティーができないかと考えている。



産業の多様化と地域経済が力強く循環するまちづくり

問 中小企業や事業所の振興、育成と、新規事業、創業の促進、成長産業分野の振興や多様な雇用の場を創出すると公約しているが、支援策は何か。

答 市場ニーズの多様化や経済のグローバル化等を踏まえて、企業の競争力強化、新規事業創業の促進、物流機能の強化の三つの視点から、市内企業の支援を進めていく。

また、新たな企業、産業の集積促進の観点から、企業誘致の推進、成長産業分野の振興に取り組んでいく。

公共施設維持管理計画の推進

問 同計画に沿った行政運営と行財政改革の進め方は。

答 同計画の趣旨を市民に十分説明し、理解していただいた上で、あるべき施設の姿を議論し、検討していきたい。

本市の人口減少に対応しつつ、健全な行政運営を行い、将来の市民生活を安定させるための取り組みとしていきたい。

問 県施設として武道場の建設を本市に誘致できないか。

答 非常に高いハードルと認識しているが、県に対して施設誘致のみならず、様々な観点から相談・要望を行いたい。

職員のさらなる意識改革

問 理想の職員像とは。

答 失敗を恐れずに行動し、まちに活気を取り戻す先兵として、みずから積極的に打って出て、こちらから住民に働きかけていく努力を惜しまず、役所という枠組みにとらわれずに地域の担い手としての自覚を持って仕事にかかわっていくことを求めている。

また、仕事を遂行する中で、全国的な視野を持って、情報発信を心がけてもらいたい。

職員のさらなる意識改革、人材育成に努める。

福祉施策の充実で「経済発展」と「まちづくり」を



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

憲法に基づく地方自治体の行政運営を

問 安全保障関連法案の成立に関して、安倍政権のもとで憲法の平和主義、立憲主義が危ぶまれる事態となっている。市長の見解を聞きたい。

答 安全保障関連法案に関しては、賛否両論があり、法案は実際に成立したが、いまだに国民の中では理解が十分に進んでいない現状にあると考える。安全保障の問題は、国の存立そのものにかかわる話であることから、国においてきちんと責任をもって対処されるべきと考える。

市民の実態にあった地域包括ケアシステムを

問 本市においては、市民の「自助」状況、地域の「共助」状況が非常に厳しい中で、「公助」の考え、制度がしっかり機能していないと大変な事態になる。人の配置も、予算措置もしっかりするべき。

市内に多くの介護事業所があり、また多くの介護従事者が働いており、これからますます必要とされる。その意味

で、この分野への予算の投入は雇用の場の確保であり、地域経済を発展させるというまちづくりの政策である。そういう視点で、考えるべきだと思うがどうか。

【高齢者の所得水準】

本市の高齢者総数（65歳以上）
⇒40,388人

うち、世帯全員の市民税が
非課税の割合 45.9%

同全国平均 約30%

答 最終的な地域包括ケアシステムというのは、在宅できちんと必要な人に必要なケア等を届けるという理念に基づいている。

その背景にあるのは、このまま進んでいった場合に、介護保険や医療費等がかさみ過ぎて、破綻するのは明々白々であり、住み慣れた地域で誰もが住めるような形を模索していくべきという議論の中で出てきたものとする。

我々としては地域できちんと支えていくようなシステムをつくりあげていく。他方で、現実の生活を送っておられる方々のことも考え、日々苦慮

しながら色々な施策の展開を行っている。

子どもの医療費の助成、通院も中学生まで拡大を

問 市内の小中学校における歯の健診で、治療が必要な子が治療に結びついていない実態がある。

小学生では、治療の必要な子どもの約5割、中学生では4割しか治療が完了していない実態をどう考えるか。

市長の感想を聞きたい。

答 歯を含めて口腔の問題は、健康の入り口であり、第1番目に考えなければならない点。

口腔関係のケアをきちんとすることで全身のケアにもつながり、健康づくりの中でも広めていく必要があり、歯はそれほど大事なものと思う。

問 歯の治療は、その家の所得状況と相関関係にある。治療に結びつける政策として、子どもの医療費の助成を考えるべき。中学生まで、通院も拡大すべきと思うが見解は。

答 県の新しい考え方の情報も入手しながら、現在検討している。

【子どもの通院医療費助成】

●本市では、助成対象は就学前まで。（県の制度と同じ）

●県の新しい考え方では、対象を小学6年生までに拡充予定。

（平成28年10月実施予定）

一般質問



公明党議員団

三宅 智加子 議員

安心して子どもを産み、
育てることのできるまち

問 子ども・子育てに係る様々な課題に対応するため、本市における総合窓口の設置が必要である。子育て世代包括

支援センターの整備とあわせ市長の見解を聞きたい。

答 子育て期の市民ニーズに対応して子育て支援を一体的に推進できるような組織機構の整備が必要と考える。また、ワンストップで相談支援を行うことは非常に重要であり、子育て世代を様々な面から総合的に支える仕組みを整える必要があると考えている。

協働のまちづくりを進める
ための市民との情報共有と
情報発信

問 市民と情報を共有するに

当たり職員の情報発信力が重要となるが、現状と課題を聞きたい。

答 職員は、様々な機会に説明責任を果たすことが重要と感じている。

今後、市民の皆さんに十分理解していただくために、職員の情報伝達能力の向上を図る取り組みを一層進めていきたい。

特に新体制になり、職員が地域や民間の中に打って出て、率先する役割を担うように力を入れていきたい。



社民・民主・護憲クラブ

平嶋 慶二 議員

市長の選挙公約実現に
向けての課題は

問 市長公約の実現に向けての課題をどう考えているのか。

答 人口減少への対応を課題と捉え、子育て支援の充実や

地域の教育力の向上及び産業の多様化と雇用の場の確保に努めたい。

本市の資源を活用した
まちづくり

問 例えば本市にゆかりのある人材等にもまちづくりへの協力をお願いをしては。

答 100周年宣伝部長の本市出身のタレントの中島浩二さんにより、世界遺産のあるまちとして本市の紹介などしていただいている。

また、親子で楽しめる仕組

みづくりも検討したい。

世界文化遺産・近代化産業遺産を
活用したまちづくりを

問 市内に点在する炭鉱遺産群を宮原坑、三川坑、三池港の三つのエリアに分けて、歴史を学ぶ場と憩いの場として誘導することはできないか。

答 来訪者が訪れたいくなる魅力・仕組みづくりが重要であり、今後も関係機関と取り組み、広く内外にPRし、交流人口の増加による地域経済の活性化に努めたい。



自由民主党議員団

山口 雅夫 議員

公共施設維持管理計画

問 本市の公共施設の維持管理費の現在の市民負担額は2万9,000円だが、将来人口7万9,000人では2倍以上を強

いることになる。その中で、更新予定の大型施設である総合体育館の財源及び建設時期はいつ頃を想定しているのか。

答 財源は、現時点で過疎債を主な財源と考えている。

建設時期は、将来の財政負担等市民の理解を得る必要があることから、基礎調査の現時点では決定していない。

再発言 建設業界の現状として、東日本大震災の復興事業や平成32年の東京オリンピック関連施設、新たなインフラ整備等の労務者不足で、建

設費が高騰する影響が生じている。建設業界の繁忙はオリンピック終了時までと予想されているが、過疎地域自立特別措置法が東京オリンピック開催の平成32年度までの暫定措置であり、延長措置を取られる確証がない。当該年度までが過疎債の対象となることと、基本設計から建設完了まで約4年かかることを逆算すれば、早急に着手しなければ間に合わないかもしれない。市民、議会の意見を踏まえ、早期の着手を目指してほしい。

一般質問



農業施策の方向性

- 問** 圃場整備の今後の対応は。
- 答** 圃場整備は担い手の育成、確保、農業生産の効率化に欠かせない事業。引き続き、市

と地域の推進員が一体となり、事業実現に向けて努力する。

問 次期総合計画に合わせ、農業振興プラン策定の考えはあるか。

答 既存の各種農業振興計画を体系化し、農業振興施策を次期総合計画に盛り込みたい。

少子化対策の基軸の認識

- 問** 少子化対策の基軸をどこに求め、どうしていくのか。
- 答** 少子化の大きな要因は、未婚化と晩婚化であり、結婚

サポートを進める必要があると考える。また、子育てに係る経済的負担の軽減、雇用の場の確保や教育の充実等の地域総合力を高め、転入促進や出生の増加に取り組みたい。

自立した校区まちづくり協議会へ

- 問** 地域担当職員の見直しによるまちづくり協議会への専任事務員の配置の考えは。
- 答** まちづくり協議会の理想の姿の一つとは考える。色々な意見等を聞いて見極めたい。



人口ビジョンとまちづくり総合プラン案

- 問** 将来の人口予測は、全ての政策の基準になると思うが、まちづくり総合プラン案に掲げる2025年の10万人という

目標は、少な過ぎないか。

答 今後、政策効果等を含めて、最終目標について検討する必要があると思う。

近代化産業遺産の経済効果

- 問** 経済効果の観点では、宿泊や夜の飲食が重要であり、戦略的、組織的な取り組みを立ち上げてほしいが、どうか。
- 答** 関係機関との協議や外部の意見も取り入れてしっかりやりたい。また情報発信も大切であり、戦略的な仕組みづ

くりとあわせて取り組みたい。

ふるさと納税

- 問** ホームページや品ぞろえについては、改善の余地があると思うが、見解を聞きたい。
- 答** 記念品に関する業務を一括して、市外の業者へ委託する方法も含め、検討している。
- 再発言** 市内の中で何かつくり込んでいくと、まちづくりのヒント等が育まれてくる。ぜひ市内でできる形で検討を進めてほしい。



小中学校英語教育の充実強化を図れ

- 問** 国の教育再生実行会議が提言したグローバル化に対応した教育の充実の内容は。
- 答** ①小学校の英語学習の抜

本的な拡充、②中学校における英語による英語授業の実施等である。

問 文部科学省が策定した「生徒の英語力向上推進プラン」の改革のポイントは。

答 ①都道府県ごとの達成目標の設定と公表の要請等、②中学生の聞く、話す、読む、書くの4技能を測定する全国的な調査の実施、③中学・高校・大学の入学者選抜における民間の資格や検定試験の活用等である。

問 提案として中学3年生は

英検3級以上、2年生は4級、1年生は5級を目指しては。

答 国は第2期教育振興基本計画での最終目標に、3年生の英検3級以上の合格者を総数の50%と掲げており、本市の実態を踏まえ、目指す児童生徒の姿を検討したい。

問 児童生徒の英語力について全国トップを目指しては。

答 本市が12年度より全国に先駆けて取り組んできた小学校からの英語教育の成果等を踏まえ、今後も先進的に取り組み、英語教育の充実を図る。

一般質問・トピックス



無所属

中原 誠悟 議員

火災後の被災者対応

問 火災で家が焼失した場合の被災者の生活保障対策は。

答 市営住宅の一時的な住居場所としての提供をはじめ、

救援物資の配布や一定の要件を満たす場合には災害見舞金を被災者に、また弔慰金を遺族に対して支給している。

本市における公共工事の発注方法

問 年度末に集中させず、年間を通して平準化できるような公共工事の発注方法に取り組むべきではないか。

答 引き続き、地域住民のご理解とご協力を求めながら、早期の発注を行うことで工事の平準化に努めていきたい。

区域区分の見直しと土地の有効活用

問 本市でも、まちの活力を引き出すため、市街化区域と市街化調整区域の区分、いわゆる線引きの撤廃を実施すべきではないか。

答 今後の人口減少や高齢化に対応した、利便性が高く暮らしやすい、持続可能なまちづくりを進める観点からも、現在の線引きを維持しながら、さらなる都市のコンパクト化を推進していきたい。

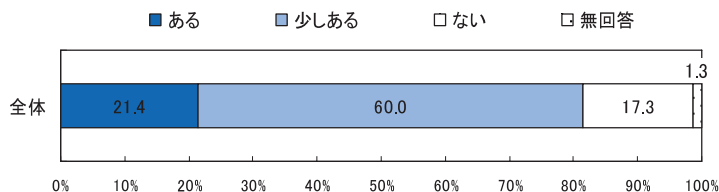
市議会に関するアンケート結果の速報がまとまりました

27年10月に20歳以上の市民の皆様1,000人を無作為に選び、議会に関する市民アンケートを実施させていただきました。この度、その結果の速報がまとまりましたので、主な項目についてご紹介させていただきます。なお、アンケートの詳細な集計結果については、後日市議会ホームページなどでお知らせします。

有効回答数・538票（有効回答率53.8％）

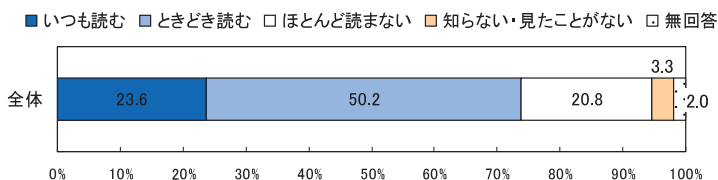
問 市議会に関心がありますか。

	件数	%
ある	115	21.4
少しある	323	60.0
ない	93	17.3
無回答	7	1.3
合計	538	100.0



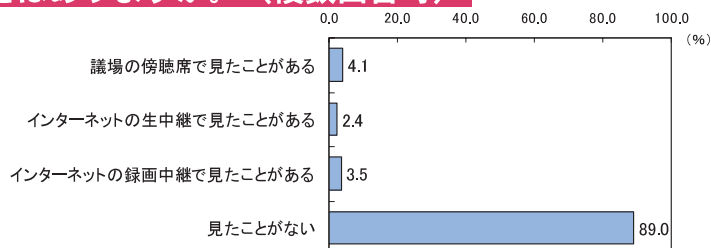
問 「おおむた市議会だより」を読まれたことはありますか。

	件数	%
いつも読む	127	23.6
ときどき読む	270	50.2
ほとんど読まない	112	20.8
知らない・見たことがない	18	3.3
無回答	11	2.0
合計	538	100.0



問 市議会の本会議をごらんになったことはありますか。（複数回答可）

	件数	%
議場の傍聴席で見たことがある	22	4.1
インターネットの生中継で見たことがある	13	2.4
インターネットの録画中継で見たことがある	19	3.5
見たことがない	479	89.0

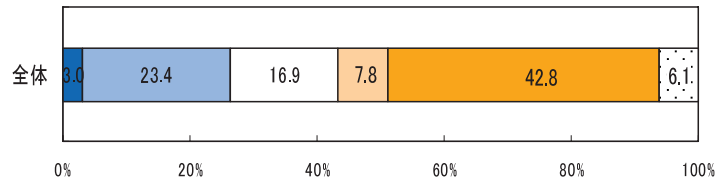


トピックス

問 現在の市議会をどう評価しますか。

	件数	%
評価する	16	3.0
ある程度は評価する	126	23.4
あまり評価しない	91	16.9
評価しない	42	7.8
わからない	230	42.8
無回答	33	6.1
合計	538	100.0

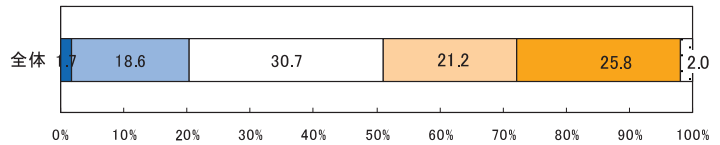
■ 評価する ■ ある程度は評価する □ あまり評価しない □ 評価しない ■ わからない □ 無回答



問 あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

	件数	%
思う	9	1.7
ある程度は思う	100	18.6
あまり思わない	165	30.7
思わない	114	21.2
わからない	139	25.8
無回答	11	2.0
合計	538	100.0

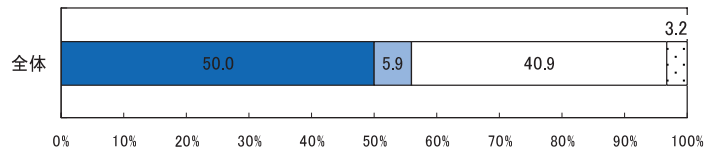
■ 思う ■ ある程度は思う □ あまり思わない □ 思わない ■ わからない □ 無回答



問 市議会の改革は必要と思いますか。

	件数	%
思う	269	50.0
思わない	32	5.9
わからない	220	40.9
無回答	17	3.2
合計	538	100.0

■ 思う ■ 思わない □ わからない □ 無回答



前問で「思う」と答えられた方にお尋ねします。
市議会はどのような改革に取り組むべきだと思いますか。(3つまで回答可)

	件数	%
議会の審査機能の向上、政策提言機能の強化	112	41.6
休日や夜間に本会議がある傍聴しやすい議会	46	17.1
市民の声を聞き取る広聴機能の充実	182	67.7
インターネットでの議会中継の充実	20	7.4
市議会ホームページの充実	23	8.6
大牟田市議会だよりの充実	51	19.0
議員数・議員報酬の検討	185	68.8
その他	24	8.9

議会の審査機能の向上、
政策提言機能の強化
休日や夜間に本会議が
ある傍聴しやすい議会

市民の声を聞き取る広聴機能の充実

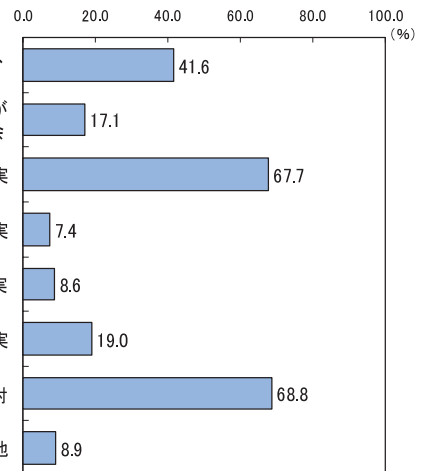
インターネットでの議会中継の充実

市議会ホームページの充実

大牟田市議会だよりの充実

議員数・議員報酬の検討

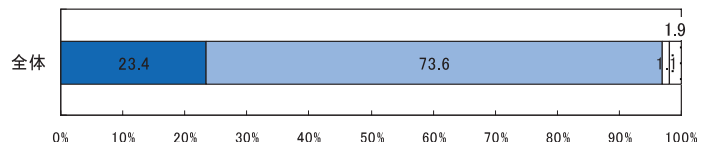
その他



問 現在、議会報告会を地区公民館など市内9箇所で開催していることをご存知ですか。

	件数	%
知っている	126	23.4
知らない	396	73.6
知っており参加したこともある	6	1.1
無回答	10	1.9
合計	538	100.0

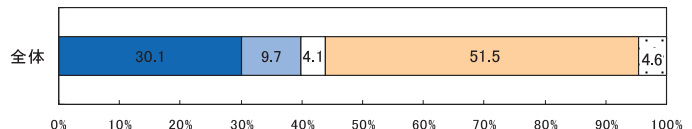
■ 知っている ■ 知らない □ 知っており参加したこともある □ 無回答



問 議会報告会の開催回数9回についてどう思われますか。

	件数	%
現状で良い	162	30.1
増やしたほうが良い	52	9.7
減らしたほうが良い	22	4.1
わからない	277	51.5
無回答	25	4.6
合計	538	100.0

■ 現状で良い ■ 増やしたほうが良い □ 減らしたほうが良い □ わからない □ 無回答



トピックス

大牟田市議会で救急救命訓練を実施



(訓練の様子)



平成27年12月2日、大牟田市議会議員参加のもと、救急救命訓練を実施しました。

市議会では、市民の生命と財産を守ることが行政において重要な分野であるとの思いから、危機管理に当たっては災害などに備えた体制や基盤整備を進めていく必要があると考えています。

我々市議会一同、災害発生時を想定した、救急救命訓練実施の重要性と実施要領についての理解を深め、緊急事態に備えることが出来るよう、この度、救急救命訓練を実施しました。

市民にも役立てていただけるよう、応急手当の一連の流れについて、お知らせします。

応急手当の一連の流れ

私たちは、いつ、どこで突然のけがや病気に襲われるかわかりません。そんな時に、家庭や職場でできる手当のことを応急手当と言います。

病院に行くまでに応急手当をすることで、けがや病気の悪化を防ぐことができます。

また、傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる一連の行いは四つの輪から成り立っています。

「四つの輪」

1. 心停止の予防



2. 心停止の早期認識と通報



3. 一次救命処置



4. 二次救命処置と心拍再開後の集中治療

この三つが重要

以上、四つの輪が途切れることなく素早くつながることによって救命効果が高まります。

これら最初の三つの輪は現場に居合わせた市民により行われることで、「心肺蘇生」が行われなかった時よりも生存率が格段に高くなります。

また、市民がAEDを使用し電気ショックを行ったほうが救急隊の到着を待つことなく早く実施できるため、生存率や社会復帰率が高いことがわかっています。

市議会としましても、市民が安心安全で生活しやすい環境づくりに取り組みながら、何時いかなる場合においても議員自ら緊急対応できるよう心掛けていきたいと思っています。

インフォメーション

■次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお入りください。インターネットでも、生中継、過去の録画（平成22年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。2月上旬から閲覧できます。ホームページでも2月上旬から閲覧・検索できます。

編集後記

昨年12月には、中尾昌弘新市長が誕生して、初めての定例議会が行われ、新市長の政治姿勢を問う質問などが活発に行われました。年も改まりいよいよ来年には市制100周年の佳節を迎えます。これから議会としても機運を盛り上げ、大牟田が元気なまちとして浮揚していくために積極的に取り組みたいと思います。

(T)

■編集 議会報編集委員会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】平嶋慶二

【委員】今泉裕人 大野哲也 島野知洋

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp

■印刷 精巧印刷株式会社